

令和2年度

事業報告書

自 令和2年4月 1日

至 令和3年3月31日



ふれあいネットワーク

三次市社会福祉協議会

目 次

総括	1
I 法人運営の取り組み	
1. 沿革・歩み	2
2. 事務所の所在地	3
3. 三次市社会福祉協議会組織図	4
4. 役員評議員一覧	5
5. 三次市社会福祉協議会本支所・施設・年代別職員数	6
6. 会議の開催	7
7. 社協組織の基盤強化と活動財源の確保	8
8. 三次市指定管理施設の管理運営	9
II 地域福祉事業	
1. 地域福祉活動の推進	
(1) ボランティアはるかぜネット	1 0
(2) ふれあいいいきサロン事業の推進	1 1
(3) 地域健康づくり事業	1 1
(4) 出前講座	1 1
2. 地区社協活動育成事業	
(1) 令和2年度地区社会福祉協議会役員研修会	1 2
(2) 各地区社会福祉協議会との連携・協働	1 2
(3) 地区社協事業活動概況	1 2
3. ボランティアセンター事業	
(1) ボランティアの発掘・育成	1 2
(2) ボランティアグループへの活動助成	1 3
(3) ボランティア活動保険	1 3
(4) 三次なんでもボランティアバンクへの登録と募集	1 3
(5) 手話・点字・録音ボランティア養成講座	1 3
(6) 三次市被災者サポートボラネット推進事業	1 4
4. 生活支援体制整備事業	
(1) 地域の実態把握・情報整理・課題分析の取り組み	1 4
(2) 地域資源マップの活用による地域資源の把握・開発の取り組み	1 5
(3) 協議体に関する取り組み	1 5
(4) 生活サポーター登録	1 5
(5) 元気サロンの開設支援	1 5
5. 三次市生活サポート事業	1 6
6. 福祉教育活動推進事業	
(1) 福祉教育推進校の指定と活動助成	1 6
(2) 福祉学習への社協職員派遣	1 6
(3) 福祉体験学習の講師調整、活動機材の貸出	1 6
7. 広報事業	
(1) 市社協広報誌「みよし社協だより」の発行	1 7
(2) 市社協ホームページへの情報掲載	1 7
(3) SNS（フェイスブック）の開設による情報発信・交流	1 7

(5) 市社協支所・施設だよりの発行	17
(6) 市内在局の報道機関への各種研修会の開催等の情報提供	17
	19
III 福祉サービス利用の相談と支援	
1. ふれあい福祉センター事業	
(1) 心配ごと相談	17
(2) 法律相談	17
(3) 相談窓口の広報	18
2. 福祉サービス利用援助事業「かけはし」	
(1) 生活支援員	18
(2) 相談件数等	18
(3) 契約件数	18
(4) ケース検討会議参加	19
(5) 関係機関連絡会議と研修会への参加	19
3. 権利擁護センターもみじ	
(1) 契約締結審査委員会	19
(2) 相談会の開催	19
(3) 相談実績	19
(4) 受任・契約実績	20
(5) 令和2年度三次市市民後見人養成事業	20
4. 生活福祉資金等貸付相談事業	21
5. 民生委員児童委員会活動への支援と連携	22
6. 行政、各種関係団体との連携・協働体制の構築	22
7. 地域人材確保推進体制整備事業	22
IV 介護保険事業・障害福祉サービス	
1. 訪問介護	23
2. 通所介護	23
3. 短期入所生活介護	23
4. 居宅介護支援事業	23
5. 介護老人福祉施設・認知症対応型共同生活介護	24
6. 介護予防支援業務	24
7. 要介護認定調査	24
V 地域支援（高齢者介護予防）事業	
1. 家族介護者交流事業	24
2. 食の自立支援事業	25
3. 軽度生活援助事業	25
4. 認知症高齢者生活援助事業	25
VI 地域支援（障がい者自立生活支援）事業	
1. 移動支援事業	25
2. 障害児生活訓練事業	26
3. 要約筆記奉仕員・手話通訳者派遣事業	
(1) 要約筆記奉仕員派遣事業	26
(2) 手話通訳者派遣事業	26
(3) 点字・声の広報等発行事業	26

VII	その他の福祉サービス	
1.	障がい児者ふれあい事業	27
2.	車椅子短期貸出事業	27
3.	福祉車両の貸出	27
4.	産前・産後ヘルパー派遣事業	27
5.	障がい者福祉団体との連携と支援	27
VIII	共同募金事業・日本赤十字社事業への協力	
1.	共同募金事業	28
2.	日本赤十字社事業への協力	28

《総括》

新型コロナウイルスの感染拡大が本格化した令和2年度は、サロン運営や配食ボランティアなど地域住民や地区社協活動の一時休止、中止が相次ぎました。三次市社会福祉協議会の介護予防事業（市受託）や地域福祉事業の実施も一部見送らざるを得ない状況がありましたが、新しい生活様式を取り入れ、3密を避けながら、孤立を防ぎつながりをつ絶やさない、誰もが安心できる地域福祉活動が継続できるよう取り組みを行いました。

また、法人運営においては指定管理施設（君田、三良坂）の廃止、三次市福祉保健センターの指定管理受託に向けた組織や事業の再構築等の検討を行いました。

三次市社会福祉協議会が令和2年度に取り組んだ「法人運営」「地域福祉事業」「介護保険事業」などの概要は次の通りです。

「法人運営」

令和元年度の総務部会の答申を受け、職員給与、手当等改正の円滑な実施による支出の削減や働き方改革の推進に取り組みました。また、指定管理施設や介護保険事業再編に伴う経営・財政基盤の見直しと活動拠点や財源確保に向けて市との協議を重ねました。

「地域福祉事業」

感染症拡大防止により三次市社会福祉協議会が実施する地域福祉事業や住民福祉活動に自粛、縮小が求められた中、「元気サロン」「ふれあいいきいきサロン」や地域健康づくり事業の運営支援を行うなど、事業を推進していくための地域との協働に積極的に取り組みました。さらに第5次地域福祉活動計画の目標である地域共生社会の実現に向けて、市内19地区社協と地域活動の諸課題について協議検討を行い、連携、関係強化を図りました。

また、新型コロナウイルス感染拡大による減収等により生活福祉資金特例貸付申請者が大幅に急増、県社協や市、地域包括支援センターなどと連携し、生活困窮者の包括的な自立支援に取り組みました。「福祉サービス利用援助事業かけはし」や「権利擁護センターもみじ」においても利用者が増加していく中で、関係機関と連絡調整を図りながら、適時適切に利用者のニーズを把握し相談支援活動を行いました。

そのほか、災害時等迅速な情報を発信することができるSNS（フェイスブック）の開設やコロナ禍において人と人とのつながりの大切さを呼びかけた「ふれあい応援メッセージ事業」を実施し、多くのメッセージが市民から寄せられました。

「介護保険事業」

利用者の減少や感染症の影響により介護保険事業の減収がさらに進み、介護人材も不足する中、法人内職員の各事業所への弾力的な応援出向など、経費削減とともに効率的な事業所運営に取り組みました。三良坂のデイサービス事業は廃止となりました。

「その他」

共同募金事業、日本赤十字社事業への協力、「出前講座」「ボランティアはるかぜネット」事業などを行いました。

I 法人運営の取り組み

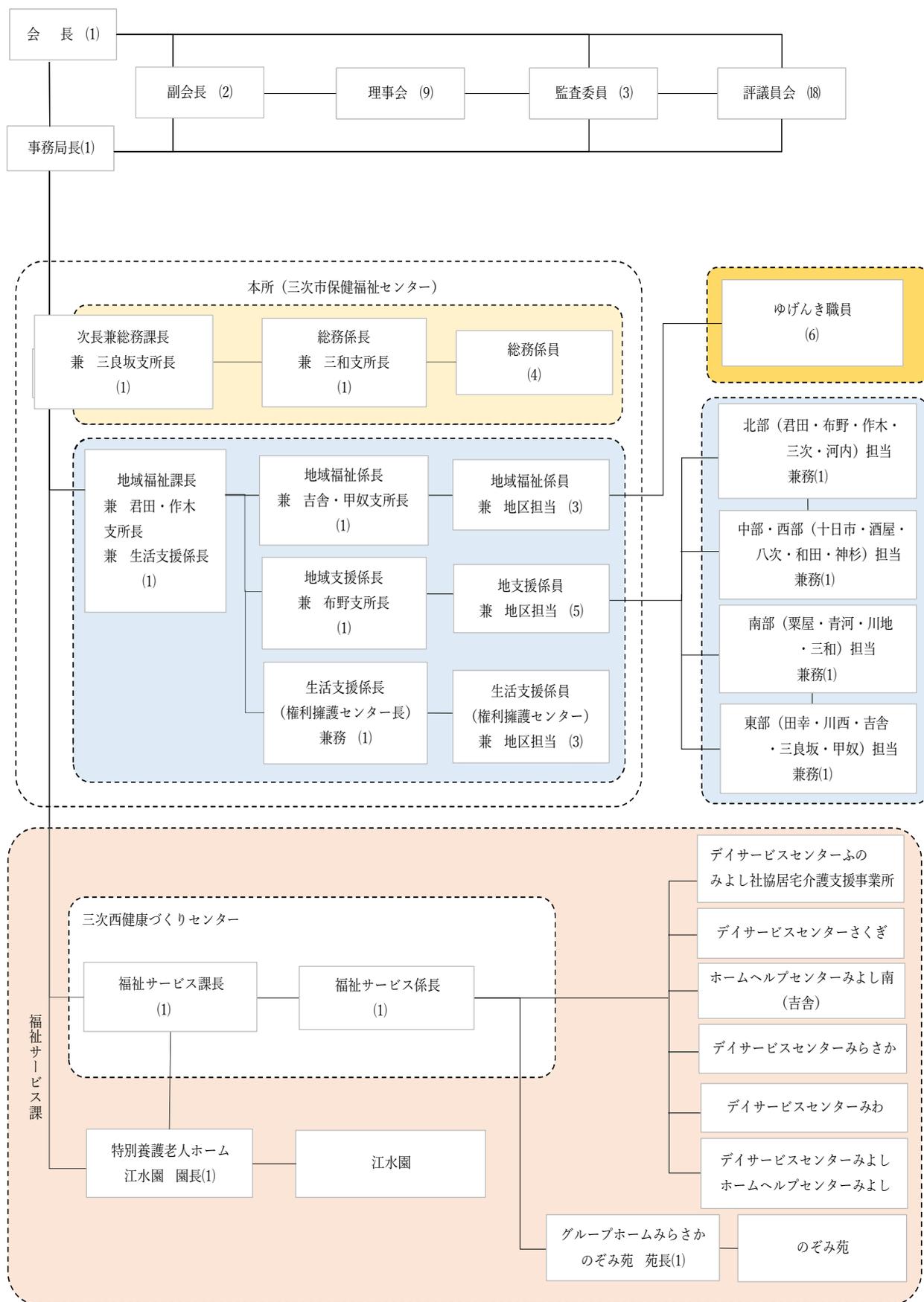
1. 沿革・歩み

平成15年12月16日	広島県知事より新社会福祉協議会設立認可
平成16年4月1日	三次市・君田村・布野村・作木村・吉舎町・三良坂町・三和町・甲奴町の各社会福祉協議会が合併して「三次市社会福祉協議会」となる。
平成17年4月1日	ホームヘルプセンターさくぎ・ふの事業所統合により「ホームヘルプセンターみよし北」開設
平成18年4月1日	ホームヘルプセンターきさ・みらさか事業所統合により「ホームヘルプセンターみよし南」開設
平成20年4月1日	グループホームみらさか「のぞみ苑」開設（指定管理施設）
平成20年4月1日	ケアプランセンター江水園・ふの事業所統合により「ケアプランセンターみよし北」開設
平成20年4月1日	「権利擁護センターもみじ」開設
平成20年5月1日	「デイサービスセンターみわ」開設
平成21年6月1日	ケアプランセンターみよし・きみた事業所統合により「ケアプランセンターみよし」開設
平成21年6月1日	ケアプランセンターきさ・みわ事業所統合により「ケアプランセンターきさ」開設
平成22年7月1日	ケアプランセンターみよし・みよし北事業所統合により「ケアプランセンターみよし北」開設
平成23年4月1日	三次西健康づくりセンター指定管理開設 ホームヘルプセンターみよし・みよし北事業所統合により「ホームヘルプセンターみよし」開設
平成23年5月1日	「デイサービスセンターみよし」開設
平成26年10月1日	ケアプランセンターみらさか・きさ事業所統合により「ケアプランセンターみよし南」開設
令和元年9月1日	ケアプランセンターみよし北・南 事業所統合により「みよし社協居宅介護支援事業所」開設
令和2年3月31日	「福祉レンタルみよし」廃止
令和2年10月31日	吉舎老人福祉センター指定管理廃止
令和3年3月31日	君田保健センター・みらさか福祉センター・君田小規模老人ホームむつみ荘指定管理廃止 「デイサービスセンターみらさか」廃止

2. 事務所の所在地

本所	〒728-0013 三次市十日市東三丁目14番1号 三次市福祉保健センター内 電話 (0824) 63-8975 FAX (0824) 62-6827
君田支所	〒728-0401 三次市君田町東入君718番地6 君田保健センター内 電話 (0824) 53-2964 FAX (0824) 53-7002
布野支所	〒728-0201 三次市布野町上布野11093番地1 布野保健福祉センター内 電話 (0824) 54-2042 FAX (0824) 54-2883
作木支所	〒728-0124 三次市作木町下作木1503番地 作木老人福祉センター内 電話 (0824) 55-2119 FAX (0824) 55-7002
吉舎支所	〒729-4211 三次市吉舎町吉舎723番地1 吉舎保健センター内 電話 (0824) 43-3301 FAX (0824) 43-7005
三良坂支所	〒729-4304 三次市三良坂町三良坂737番地1 みらさか福祉センター内 電話 (0824) 44-2182 FAX (0824) 44-7005
三和支所	〒729-6702 三次市三和町敷名11460番地2 みわ総合福祉センター内 電話 (0824) 52-3143 FAX (0824) 52-7009
甲奴支所	〒729-4102 三次市甲奴町西野592番地 三次市甲奴健康づくりセンターゆげんき内 電話 (0847) 67-2075 FAX (0847) 67-2195
江水園	〒728-0131 三次市作木町香淀655番地 電話 (0824) 55-3388 FAX (0824) 55-7066
グループホームみらさか	〒729-4303 三次市三良坂町灰塚37番地12 電話 (0824) 44-3738 FAX (0824) 44-7101
三次西健康づくりセンター	〒728-0026 三次市日下町143番地1 電話 (0824) 65-0321 FAX (0824) 65-0362

3. 三次市社会福祉協議会組織図（令和3年3月31日現在）



4. 役員評議員一覧（令和3年3月31日現在）

理事（会長）	亀井源吉	評議員	多門寺賢爾
理事（副会長）	尾崎義男	評議員	秋本益徳
理事（副会長）	有田雅俊	評議員	上森幹雄
理事（常務理事）	岡本一彦	評議員	児玉一基
理事	森田和利	評議員	佐藤 巧
理事	麓 知子	評議員	新家嘉宏
理事	鷺尾 實	評議員	佐島澄夫
理事	添田龍彦	評議員	加藤利明
理事	牧原英敏	評議員	松田敏昭
理事	田村眞司	評議員	原田豊春
理事	鴨池致良	評議員	佐倉 正
理事	福永 要	評議員	加藤良二
理事	森末善彦	評議員	藤永信昭
理事	足利晃昭	評議員	田村芳和
定数 14名		評議員	伊藤 榮
監事	山口幸三	評議員	金広克枝
監事	藤井敏美	評議員	片岡征治
監事	安永 統	評議員	新元史子
定数 3名		定数 18名	
任期 令和元年6月24日から令和3年定時評議員会終結の時まで		任期 平成29年4月1日から令和3年定時評議員会終結の時まで	

5. 三次市社会福祉協議会本支所・施設・年代別職員数（令和3年3月31日現在）

番号	支所名	男性	女性	職員数	一般職				医療職				福祉職				
					正職	嘱託	非常勤	パート	正職	嘱託	非常勤	パート	正職	嘱託	非常勤	パート	
1	三次本所	7	13	20	20												
2	三次西健康づくりセンター	5	28	33	2			4	1			2	5				19
3	君田支所		2	2				1									1
4	布野支所	5	25	30	10				1			1	4				14
5	作木支所	2	8	10	1				1			1	2		1		4
6	吉舎支所		25	25			1						4	1			19
7	三良坂支所	3	9	12	1						1	1	3				6
8	三和支所	2	7	9	1								2				6
9	甲奴支所	4	6	10	6			4									
小計		28	123	151	41		1	9	3		1	5	20	1	1		69
10	江水園	10	22	32	5			3	2				15		1		6
11	グループホーム	5	14	19				3					10	1	1		4
小計		15	36	51	5			6	2				25	1	2		10
合計		43	159	202	46		1	15	5		1	5	45	2	3		79

職名		30才未満	30～39才	40～49才	50～59才	60～69才	70才以上	合計
正職員	医療職			1	4			5
	事務局長					1		1
	課長（施設長）				3	1		4
	課長補佐（係長）			1	3			4
	主任							
	主任主事							
	主事	4	18	24	31	5		82
計		4	18	26	41	7		96
嘱託職員								
嘱託職員（再）						2		2
非常勤職員				1	1	3		5
非常勤職員（パート）			1	15	2	25	23	66
登録訪問介護員			2	3	5	18	5	33
合計		4	21	45	49	55	28	202

職類	令和3年3月31日		令和2年3月		平成31年3月		平成30年3月		平成29年3月		平成28年3月		平成27年3月	
正職員	96人	47.5%	67	29.9%	65	30.0%	63	29.4%	66	30.4%	65	28.8%	70	32.7%
嘱託職員	2人	1.0%	13	5.8%	17	7.8%	18	8.4%	18	8.3%	18	8.0%	20	9.3%
非常勤職員	5人	2.5%	26	11.6%	32	14.7%	36	16.8%	36	16.6%	44	19.5%	42	19.6%
パート職員	66人	32.7%	85	37.9%	71	32.7%	66	30.8%	68	31.3%	69	30.5%	56	26.2%
登録ヘルパー	33人	16.3%	33	14.7%	32	14.7%	31	14.5%	29	13.4%	30	13.3%	26	12.1%
合計	202人	100%	224	100%	217	100%	214	100%	217	100%	226	100%	214	100%

6. 会議の開催

三次市社会福祉協議会の基本方針に基づいた活動、事業を計画的に展開していくために、根幹となる役員・評議員と事務局職員が法人運営に参画することにより社協活動を活発化させ、地域の活動により多くの住民が参画できる場面をつくっていくために、次の関係会議を開催しました。

- (1) 正副会長会議
- (2) 理事会
- (3) 評議員会
- (4) 監査会
- (5) 業務調整会議
- (6) 社協事業検討会議

[正副会長会議]

法人運営や理事会・評議員会開催の事前協議を行うために毎月開催しました。

[理事会]

第1回 令和 2年 6月12日	職務執行状況報告 令和元年度事業報告並びに決算の承認 評議員選任・解任委員会委員の選任 理事候補者の推薦 評議員会の招集
第2回 令和 2年 6月29日	会長の選定
第3回 令和 2年12月 1日	職務執行状況報告
第4回 令和 3年 3月22日	報告 令和3年度事業計画の承認 令和3年度収支予算の承認 定款の一部変更の承認 評議員選任解任委員会運営規程の一部変更 評議員候補者の推薦 評議員選任解任委員会の招集 評議員会の招集 功労者表彰の承認 理事候補者の推薦

〔評議員会〕

開催日	内容
第1回 令和 2年 6月29日	令和元年度事業報告並びに決算の承認 理事の選任
第2回 令和 3年 3月24日	令和3年度事業計画の承認 令和3年度収支予算の承認 定款の一部変更の承認 功労者表彰の承認 理事の選任

〔監査会〕

第1回	令和 2年 6月 3日	令和元年度決算監査
第2回	令和 2年11月19日	令和2年度中間監査

〔業務調整会議〕

毎月開催し、事務局長、課長、施設長、課長補佐の管理職で、事業の効果的・効率的な展開のために、業務の調整を行いました。

7. 社協組織の基盤強化と活動財源の確保

(1) 役員・評議員及び職員研修

外部の研修会等を積極的に活用し、職員の資質の向上に努めました。なお、社会福祉法人役員研修などの法人外研修の多くが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。

〔法人内研修会等開催状況〕

研修名、内容など	参加人数
介護保険事業所管理者、事業部門別会議・研修（定例）	事業所職員

〔法人外研修会等参加状況〕

研修名、内容など	参加人数
ひろしま社協活動推進会議コロナ禍における地域福祉活動推進プロジェクト	1名
広島県介護支援専門員更新・専門研修課程Ⅱ	1名
ひろしま社協活動推進会議介護保険・自立支援研修会	1名
相談援助技術向上研修	1名
広島県生活支援コーディネーター育成研修・情報交換会	1名
社協経理研修	1名
広島県認知症介護実践研修	3名
成年後見制度実務者研修	1名
技能実習責任者研修	3名

など

(2) 社協会員の加入促進

社協会員の加入促進の取り組みとして、「みよし社協だより」やホームページなどを通じて、広報活動や事業の紹介に努めました。

社協会費の令和2年度実績は、5,544,400円となり、対前年比で2.6%の減となりました。

[会費・寄付金実績]

(単位：円)

勘定科目	予算額	実績額	令和元年度実績額
会費収入	6,027,000	5,544,400	5,691,600
一般会費	5,462,000	5,153,400	5,292,800
賛助会費収入	410,000	246,000	285,000
特別会費収入	155,000	145,000	125,000
一般寄付金収入	8,620,000	6,135,743	7,707,867
指定寄付金収入		505,000	5,038,839
会費・寄付金合計	14,647,000	12,185,143	18,438,306

[会費・寄付金の推移]

単位：千円

年度	30		元		2	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
会費収入	11,545	5,702	11,456	5,691	11,083	5,544
前年対比 (%)		▲3.5%		▲0.2%		▲2.6%
寄付金収入	532	7,515	555	12,746	481	6,640
前年対比 (%)		▲1.1%		171.5%		▲47.9%

(3) 苦情解決体制

第三者委員などによる福祉サービス苦情処理連絡会議を設置し、社会福祉協議会のサービスへの苦情と苦情処理体制の現況を報告しました。なお、令和2年度は、該当案件はありませんでした。

8. 三次市指定管理施設の管理運営

三次市から10拠点15施設の指定管理施設の管理委託を受け、地域の福祉拠点として、多様化する住民ニーズに対応した福祉・保健サービスの提供に努めました。

[指定管理施設] 10拠点15施設

- (1) みらさか福祉センター（令和3年3月31日指定管理廃止）
- (2) 吉舎保健センター及び吉舎老人福祉センター
※吉舎老人福祉センター（令和2年10月31日指定管理廃止）
- (3) みわ総合福祉センター
- (4) 君田保健センター（令和3年3月31日指定管理廃止）
- (5) 君田小規模老人ホームむつみ荘（令和3年3月31日指定管理廃止）
- (6) 作木老人福祉センター「せせらぎの里」及び作木老人デイサービスセンター
- (7) 布野保健福祉センター及び高齢者共同生活支援施設
- (8) 特別養護老人ホーム「江水園」及び作木あんしんリビング
- (9) グループホームみらさか
- (10) 三次西健康づくりセンター及びデイサービス施設

II 地域福祉事業

1. 地域福祉活動の推進

新型コロナウイルス感染症の影響で、地域福祉活動が中止あるいは延期となり、一部の活動は再開したものの、通いの場の多くが引き続き休止となるなど、地域福祉活動に多大な影響がありました。そのなかで、感染予防に配慮しながら“つながりを途切れさせない福祉活動”を関係機関・団体と連携し取り組みました。

(1) ボランティアはるかぜネット（住民参加型在宅福祉サービス）

地域住民の方の生活を支えるとともに、住民同士の支え合いを進めるため、今年度もサービス調整と利用会員、活動会員の拡大のための取り組みを行いました。

① ボランティアはるかぜ会員の登録状況

年度	元	2
会員数	54名	46名

② はるかぜ会員活動時間・件数

年度	元	2
件数	371件	231件
延活動時間	431時間	245時間

③ 「助け合いネットワークみよし連絡協議会」

構成団体（JA 三次たんぽぽの会、ボランティアグループみよし、生協ひろしまくらしの助けあい、広島医療生活協同組合）と日頃から連携を再確認する予定でしたが、会議を開催することができませんでした。

(2) ふれあいいきいきサロン事業の推進

サロン活動助成状況

年度	元	2
助成先サロン数	97	99

(3) 地域健康づくり事業

住み慣れた地域で心身ともに健康で暮らし続けるために、趣味や楽しみの共有、役割づくりができるような環境づくりに取り組みました。

① 地域デビュー講座

「作木町 男のコーヒードリップ教室」を開催。地区社協や自治連合会と共同開催することで、地域への周知や教室終了後の活動につなげることができました。



開催日	9月11日 9月27日 10月11日
参加者（定員10名）	10名

② サロン訪問

いきいきふれあいサロン活動助成金を受け活動されているサロンを訪問し、地域と社協職員の顔の見える関係づくりをすすめると共に、サロンの活動状況や課題の聞き取りを行いました。

助成サロン数	99サロン
訪問サロン数	54サロン

(4) 出前講座

地域のサロン、学校、地区社協、老人クラブなどでふれあい出前講座を開催しました。

年度	元	2
対象講座	10講座	10講座
実施回数	77回	30回
受講者数	1,324名	430名

2. 地区社協活動育成事業

小地域福祉活動の中核を担う地区社会福祉協議会の活動が、円滑に行われるように、活動助成や研修会を企画しました。

(1) 令和2年度地区社会福祉協議会役員研修会

日時	令和3年3月9日
内容	テーマ：「住民主体の地域福祉を考える ～地区社協と市社協の連携による地域福祉～」 講師：ローカリズム・ラボ 井岡 仁志 氏

(2) 各地区社会福祉協議会との連携・協働

各地区社会福祉協議会、地区社会福祉協議会連合会の会議への参加や行事への協力を例年行ってきましたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、会議や事業の中止が相次ぎ、例年通りの取り組みができない中、2カ所の地区社協へ地域情報の聞き取りに訪問しました。

(3) 地区社協事業活動概況

令和2年度も各地区社会福祉協議会では、様々な地区内での福祉活動を計画されていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの方が参加し、交流を目的とした敬老行事やつどいなどの行事の多くを中止せざるを得ませんでした。しかし、人と人が会えない状況が続く中で、人と人とのつながりの大切さを再認識したこともあり、感染予防に取組みながら高齢者の訪問活動やスポーツ行事などを開催し、地域住民の交流を大切にした福祉活動に取り組まれました。

3. ボランティアセンター事業

新型コロナウイルス感染症拡大により、三次市でもマスクが不足する状況が起きました。そのような中、三次市ボランティアセンターに登録されているボランティアグループの方に手作りマスクの作製をお願いしたところ、材料の提供もできない状態でしたが、たくさんのご協力をいただきました。皆さんから約1,200枚のマスクが届けられ、市教育委員会を通して児童クラブや包括支援センターなどを通して必要とされている方に渡していただきました。



(1) ボランティアの発掘・育成

① 2020「夏・体験物語」

新型コロナウイルス感染防止のため事業の実施を中止しました。

(2) ボランティアグループへの活動助成

助成団体数	2団体 ボランティアグループみよし、三次点訳サークルほおずき
助成総額	40,000円

(3) ボランティア活動保険

区分	登録グループ数		活動保険加入者数	
	元	2	元	2
本所	47	35	2,629	1,964
君田	4	1	89	9
布野	7	4	37	26
作木	5	2	55	30
吉舎	5	2	172	32
三良坂	4	4	73	75
三和	3	3	95	92
甲奴	3	1	137	104
合計	79	52	3,360	2,332

(4) 三次なんでもボランティアバンクへの登録と応募

年度	元	2
登録団体数	25	24

(5) 手話・点字・録音ボランティア養成講座（市受託）

〔手話奉仕員養成講座〕 協力：三次手話サークル竹

年度	元	2
期間	5月～3月	6月～3月
回数	35回	35回
受講者数	15名	5名
修了者数	10名	4名



〔録音ボランティア養成講座〕 協力：三次朗読奉仕者友の会

年度	元	2
期間	9月～1月	9月～12月
回数	5回	4回
受講者数	17名	15名

※令和3年1月16日に最終回開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染防止の配慮から開催中止となりました。

[要約筆記一日講座] 協力：広島県北三次難聴者・中途失聴者協会
三次市要約筆記サークル「うかい」

年度	元	2
期間	11月	6月
回数	1回	1回
受講者数	3名	7名

[点訳ボランティア養成講座] 協力：三次点訳サークルほおずき

年度	元	2
回数	11回	10回
受講者数	13名	7名
修了者数	8名	6名

※令和3年2月20日に入門講座開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染防止の配慮から開催中止となりました。

(6) 三次市被災者サポートボラネット推進事業

① 被災者生活サポートボラネット研修会の開催

平成30年7月の豪雨により被災した三原市災害ボランティアセンターの活動について担当職員と地区社協役員を招き、災害ボランティアセンターの運営について学びました。



② 災害対応資機材の整備

研修会や災害ボランティアセンターで活用するためにワイヤレスアンプを整備しました。

4. 生活支援体制整備事業（市受託）

地域における生活支援・介護予防サービスの提供体制を整備することを目的として、生活支援コーディネーター6名（第一層1名、第二層5名）を配置し、関係各機関と連携を図りながら事業に取り組みました。

(1) 地域の実態把握・情報整理・課題分析の取組

他機関（三次市高齢者福祉課・健康推進課・市支所・三次市包括支援センター）と連携し、地域ケア会議等に参加しました。そのなかで、地域課題把握や地域資源を活用した課題解決への支援を協働して取り組みました。

(2) 地域資源マップの活用による地域での資源把握・開発の取り組み

三次商工会議所・三次地区医師会など8組織や市内事業所から情報提供をいただき、令和2年3月に発刊した『三次市高齢者生活支援情報誌～あなたの生活応援します～（令和元年度版）』を活用し、各地域（三良坂町・三和町）の地域ケア会議などで地域版を作成しました。町内の福祉・社会資源を紹介する内容で、民生委員、児童委員をはじめ支援者に配布し、高齢者の生活支援に活用されます。

(3) 協議体に関する取り組み

協議体の設置に関することで、行政（三次市高齢者福祉課・健康推進課・市支所）、三次市地域包括支援センターと協働し、地域ケア会議等に参加し、地域課題把握や地域資源を活用した課題解決への支援を行いました。

また、新たな地域ケア会議立ち上げにも関わり、生活支援体制整備事業を進める「協議体」との関連性を追求しながら、話し合いの場づくり支援を行いました。

(4) 生活サポーター登録

生活サポート会員に1名の新規登録がありました。

生活サポート会員	29名
----------	-----

(5) 地域住民の通いの場としての元気サロンの開設支援

高齢になっても「元気」で過ごせるように、また地域ぐるみの支え合いの場となるよう「元気サロン」の活動と立ち上げ支援を行いました。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、立ち上げを予定されていた2カ所のサロンが説明会を延期され、新規開設は11カ所となりました。立ち上った元気サロンの体力測定会（3ヶ月、6ヶ月、1年）においても、感染拡大防止として、中止や延期が多数となりました。

また、元気サロンを開催されるにあたって感染予防対策実施や自粛時のフレイル予防などの文書を作成し、全サロンに配布し周知を行いました。令和3年3月末現在、市内51カ所で元気サロンが取り組まれています。

元気サロン説明会	11カ所 十日市（2）、酒屋（1）、青河（1）、川西（1）、甲奴（6）
元気サロン支援	・元気サロン（市内全域51カ所）の活動支援 ・新規立ち上げ支援 【11カ所】目標：17カ所

	十日市：岡竹元気サロン、十日市6区元気サロン 酒屋：ふねぞげんきサロン 青河：下青河元気サロン 川西：上田いきいきサロン 甲奴：品・掛谷元気サロン、カーター通り駅元気サロン、梶田下志元気サロン、祇園元気サロン、橋本元気サロン 2020、西谷元気サロン ・支援内容 説明会 11カ所 延32回 参加者282名 体力測定会 35回 参加者287名 アンケート調査 体力測定時に実施
--	--

5. 三次市生活サポート事業（市受託）

要支援者が自宅で安心して自立した生活を送ることができるように、ボランティア（生活サポート会員）による日常のちょっとした困りごと（掃除、洗濯、調理、買い物等）を地域で支え合う事業ですが、利用者はありませんでした。

6. 福祉教育活動推進事業

福祉教育の推進のため、小中学校に対して活動助成金を交付するとともに、福祉学習への職員派遣や講師調整、資機材の貸し出しを行いました。

(1) 福祉教育推進校の指定と活動助成

小学校（20校）	三次、十日市、八次、青河、酒河、田幸、和田、神杉、川地、川西、君田、布野、作木、吉舎、八幡、みらさか、三和、小童、甲奴、河内
中学校（9校）	三次、塩町、君田、布野、吉舎、みらさか、三和、甲奴、作木

(2) 福祉学習への社協職員派遣

小学校（2校）	三和、田幸
---------	-------

(3) 福祉体験学習の講師調整、活動機材の貸出

[活動機材の貸出]

小学校（1校）	十日市
---------	-----



7. 広報事業

三次市社会福祉協議会の活動や事業をはじめ、地域福祉の推進や制度、サービスについて広く地域住民や当事者、関係者の方の理解・協力を得るために、様々な方法による情報発信や提供に努めました。

(1) 市社協広報誌「みよし社協だより」の発行

発行回数：年6回（偶数月）

発行部数：1回24,600部

(2) 市社協ホームページへの情報掲載

年度	元	2
アクセス数	34,168件	32,376件

(3) SNS（フェイスブック）の開設による情報発信・交流

(4) 市社協支所・施設だよりの発行

(5) 市内在局の報道機関への各種研修会の開催等の情報提供

III 福祉サービス利用の相談と支援

1. ふれあい福祉センター事業

月～金曜日の平日、社協職員が電話や来所での相談に対応しています。また、年3回、土曜日に弁護士による法律相談を行いました。

(1) 心配ごと相談

[相談体制]

	相談体制	開設状況
本所	社協本所 職員	月～金曜日（祝・祭日除く）
支所	社協支所 職員	月～金曜日（祝・祭日除く）

[相談件数]

来所相談	80名
電話相談	170件
合計	250件

(2) 法律相談

相談体制： 弁護士

開設状況： 年3回

年度	元	2
相談件数	8件	5件

(3) 相談窓口の広報

広報の方法	市社協だより、音声告知放送、関係団体・各窓口へのチラシ配布など
-------	---------------------------------

2. 福祉サービス利用援助事業「かけはし」

認知症や知的障がい、精神障がいなどにより支援が必要な方に対して、福祉サービスの利用支援や日常的な金銭管理、通帳・印鑑・証書等の預りなどの援助を行いました。

(1) 生活支援員

年度	元	2
活動従事者数	10名	5名

(2) 相談件数等

		問合せ件数		相談等件数	
		1	2	1	2
「かけはし」 に関するもの	認知症高齢者等	0	3	63	33
	知的障がい者等	0	1	0	6
	精神障がい者等	0	3	20	16
	その他	0	0	4	2
その他の相談・援助		5	5	0	0
合計		5	12	87	57

(3) 契約件数

対象者	年度当初の実利用者数		契約件数		左記のうち被生活保護者数		契約終了件数		左記のうち被生活保護者数		3月末日の実利用者数	
	元	2	元	2	元	2	元	2	元	2	元	2
認知症高齢者等	9	13	12	13	12	2	7	8	5	1	13	18
知的障がい者等	11	9	2	4	1	0	3	2	2	1	9	11
精神障がい者等	6	16	12	8	5	2	1	7	1	5	16	17
その他	1	1	0	2	0	2	0	0	0	0	1	3
合計	27	39	26	27	18	6	11	17	8	7	39	49

- (4) ケース検討会議参加 24回
 (5) 関係機関連絡会議と研修会への参加 3回

3. 権利擁護センターもみじ

法人後見の受任を行うとともに、住民の方の身近な相談の場所となるよう努めました。法人後見の受任にあたっては、契約締結審査委員会を開催して審議しました。また、昨年度市民後見人が2名選任され、後見活動を行いました。

(1) 契約締結審査委員会

第1回	令和2年 4月 22日
第2回	令和2年 9月 16日
第3回	令和3年 1月 21日
第4回	令和3年 3月 11日

(2) 相談会の開催

成年後見・権利擁護等に関する相談会を開催しました。

開催日	場所
11月17日	布野保健福祉センター
11月18日	三次市福祉保健センター
11月19日	みらさか福祉センター

(3) 相談実績

区分	一般相談	後見
本人	3	0
家族	5	4
介護支援専門員	4	0
在宅事業所	13	3
施設・病院	15	4
民生委員	0	0
行政・包括	6	2
その他	6	3
合計	52	16

(後見内訳)

区分	法定後見	任意後見	任意代理	遺言
高齢者	9	1	0	0
認知症	4	0	0	0
知的障がい者	1	0	0	0

精神障がい者	1	0	0	0
身体障がい者	0	0	0	0
未成年	1	0	0	0
合計	16	1	0	0

(4) 受任・契約実績

① 新規受任件数

年度	補助	保佐	後見	合計	かけは しから の移行	成年後見 制度利用 支援事業 利用者	市長申 し立て	複数後 見
元	1	5	8	14	4	0	7	2
2	0	1	4	5	2	2	4	2

② 市民後見人受任件数（社協との複数後見）

2件

③ 年度末時点での受任件数

年度	補助	保佐	後見	合計	かけは しから の移行	成年後見 制度利用 支援事業 利用者	市長申 し立て	複数後 見
元	2	7	16	25	12	2	17	2
2	2	7	16	25	9	6	13	2

④ 任意後見契約（受任）件数

年度	新規任意後見契約	任意後見契約	任意後見監督人選任	複数後見
元	0	4	1	0
2	0	4	2	0

(5) 令和2年度三次市市民後見人養成事業（市受託）

① 令和2年度受講者対象フォローアップ研修

	開催日	内容	参加者数
第1回	6月13日	成年後見実務演習	18名
第2回	10月24日	市民後見人活動の実際	15名
第3回	2月20日	成年後見実務演習（死後事務）	18名
講師	備北ひばり法律事務所 弁護士 前田剛志 氏 広島北部司法書士事務所 司法書士 飯田一生 氏 平岡社会福祉士事務所 社会福祉士 平岡和子 氏 市民後見人 成清耕三 氏		

② 令和2年度成年後見制度講演会

実施日	10月3日
会場	三次市福祉保健センター
参加者数	55名
内容	「成年後見制度による支えあい～住み慣れた地域で安心して くらすために～」 坂下法律事務所 弁護士 坂下宗夫 氏

③ 「三次市民後見人バンク」「三次市社協生活支援員」登録

三次市民後見人バンク登録者

20名（令和3年3月31日）

三次市社協生活支援員登録者

13名（令和3年3月31日）

4. 生活福祉資金等貸付相談事業

生活福祉資金とは、低所得世帯等への資金の貸付と必要な相談支援を行い、経済的自立や生活意欲の助長促進を図り、安定した生活を送れるようにすることを目的とした事業です。新型コロナウイルス感染症の影響で休業や失業された方を支援するため生活福祉資金特例貸付が開始され、令和2年度は200件を超える貸付を行い、総額41,000,000円を超える貸付額となりました。

〔生活福祉資金貸付実績〕

期末貸付件数	242件	
新規貸付件数	221件	内訳) 福祉資金 0件
		緊急小口資金 20件
		教育支援資金 0件
		総合支援資金 0件
		特例緊急小口資金 153件
		特例総合支援資金 48件

〔民生資金貸付実績〕

期末貸付件数	5件
新規貸付件数	0件

〔相談件数〕 318件

〔新規貸付件数の推移〕

年 度	元	2
生活福祉資金 ※特例貸付を含む	17件	221件
民生資金	0件	0件

5. 民生委員児童委員活動への支援と連携

三次市民生委員児童委員協議会定例理事会、各地区民生委員児童委員協議会へ出席し、社協の事業説明や地域課題や個別ケースの共有などを行い、連携と共同の取組を行いました。

6. 行政、各種関係団体との連携・協働体制の構築

三次市の関係部局との連絡会議等を開催、出席し、事業の調整や情報の共有などを行い、連携と協働をすすめました。

また、三次市社会福祉団体（三次市遺族会連合会、三次市老人クラブ連合会、三次市身体障害者連合会、三次市認知症の人と家族の会、広島県北三次難聴者・中途失聴者協会）をはじめとする各団体事業に協力しました。

7. 地域人材確保推進体制整備事業

三次市内の関係機関や団体が協力しながら福祉や介護人材の確保や育成・定着に向けた取り組みを行いました。2月に介護職員の介護負担軽減のためのオンライン研修会を開催し、3月には介護や福祉の仕事や施設の魅力を紹介する展示コーナーを18の参加団体の協力で市内のショッピングセンターにて開設しました。



IV 介護保険事業・障害福祉サービス

三次市の要介護要支援認定者数は平成26年度の4,898人をピークに減少傾向にあり、令和2年度では4,438人となっています。新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年4月、5月の2か月間は、居宅系サービスの利用が大幅に減少しました。その一方、施設系サービスの利用は、令和2年度は増加傾向にありました。

令和2年度の収支状況は11事業所中、3事業所は赤字営業となっており、今後も利用者数減少が進むと更に法人経営を圧迫することが懸念されます。事業運営では、徹底的な効率化を推進して、適正人員配置と介護職員の事業所間の連携・相互支援に

より一定の収益を確保できるよう支出の抑制に努めました。

一方、障害福祉サービスでは全国的に10年前と比較してサービス利用者数が約1.5倍に増加していて、当法人でも平成30年度から利用者増の傾向にあります。

1. 訪問介護（ホームヘルプセンターみよし南／みよし）

要介護者・要支援者・障がい者の方が、自宅で自立した生活を送れるようサービスの提供を行いました。

〔介護保険訪問介護事業〕

年度／区分	年延べ利用者数	月平均利用者数	収入額（円）
元	26,776	2,231	81,531,379
2	24,095	2,008	72,295,958

〔障害福祉サービス事業〕

年度／区分	年延べ利用者数	月平均利用者数	収入額（円）
元	3,641	303	16,035,650
2	4,772	398	16,742,260

2. 通所介護（デイサービスセンターふの／さくぎ／みらさか／みわ／みよし）

要介護者・要支援者の方の日常生活上の機能訓練、社会的孤立感の解消、及び心身機能の維持向上を目的とし、自立支援へ取り組みました。

年度／区分	年延べ利用者数	月平均利用者数	収入額（円）
元	17,027	1,418	144,326,362
2	14,547	1,212	135,148,977

3. 短期入所生活介護（江水園短期入所生活介護）

在宅の要介護者、要支援者の方が短期入所され、日常生活上のお世話や機能訓練などを提供しました。

年度／区分	年延べ利用者数	月平均利用者数	収入額（円）
元	2,720	226	25,365,639
2	3,108	259	30,696,152

4. 居宅介護支援事業（みよし社協居宅介護支援事業所）

居宅サービス計画の作成及び介護保険サービス利用の支援を行いました。主任介護支援専門員を配置するなど質の高いサービスを提供するよう努めました。

年度／区分	年延べ利用者数	月平均利用者数	収入額（円）
元	3,374	281	57,651,610
2	2,706	226	47,594,790

5. 介護老人福祉施設・認知症対応型共同生活介護

入居者一人一人の生活を第一に、穏やかな生活が送れるようサービスの提供を行いました。

[特別養護老人ホーム江水園]

年度／区分	年延べ利用者数	1日平均利用者数	収入額（円）
元	10,773	29.4	125,817,355
2	10,767	29.4	131,597,360

[グループホームみらさか]

年度／区分	年延べ利用者数	1日平均利用者数	収入額（円）
元	6,084	16.6	65,405,920
2	6,172	16.9	66,682,580

6. 介護予防支援業務（みよし社協居宅介護支援事業所）

地域包括支援センターみよしから介護予防支援業務の一部を受託し、要支援の方の介護予防サービス計画の作成及び介護予防サービス利用の支援を行いました。

年度／区分	年延べ利用者数	月平均利用者数	収入額（円）
元	71	5	287,196
2	24	2	97,392

7. 要介護認定調査

居宅介護支援事業所及び介護老人福祉施設において、要介護認定調査を受託し、認定調査を実施しました。

年度	延調査件数	収入額
元	223件	777,000円
2	95件	313,500円

V 地域支援（高齢者介護予防）事業

1. 家族介護者交流事業（市受託）

在宅で要介護1以上の要介護者を介護されている家族に対して、介護者の相互交流の場を提供しました。



	実施日	参加数	内容・実施場所
第1回	11月16日	7人	講演「男性脳を生かす在宅介護のコツ」 場所：広島三次ワイナリー
第2回	12月8日	7人	講演「音楽を楽しみましょう」 場所：よっしや吉舎

2. 食の自立支援事業（市受託）（君田／布野／作木／三良坂）

在宅の高齢者の方などを対象に、健康づくりと安否確認などを目的に食事の提供（弁当）を行いました。デイサービス事業を行う3拠点（作木、布野、三良坂）で4地域（作木、布野、君田、三良坂）に対して事業を実施しました。

年度	延利用者数	収入額
元	273名	3,982,650円
2	245名	3,334,800円

3. 軽度生活援助事業（市受託）（ホームヘルプセンターみよし／みよし南）

おおむね65歳以上の一人暮らし、又は世帯全員がおおむね65歳以上の方で、介護保険の対象とならない家事援助を必要とする在宅の高齢者に対し、週1回程度訪問し、支援しました。

年度	延利用者数	収入額
元	133名	194,180円
2	61名	89,060円

4. 認知症高齢者生活援助事業（市受託）（ホームヘルプセンターみよし／みよし南）

認知症高齢者を介護されている世帯へ、介護者の不在の際に訪問介護員を派遣し見守り等を行い、介護者の負担軽減を行いました。

年度	延利用者数	派遣延時間数	収入額
元	264名	426.8時間	682,500円
2	157名	195.5時間	279,000円

VI 地域支援（障がい者自立生活支援）事業

1. 移動支援事業（市受託）（ホームヘルプセンターみよし／みよし南）

肢体不自由者で外出に支援を必要とする障がいを有する方を対象に、外出等の支援をしました。

年度	延利用者数	収入額
元	18名	131,050円
2	34名	115,220円

2. 障害児生活訓練事業（市受託）

春・夏・冬期の学校の長期の休みの間、在宅の障がい児等に日常生活上必要な生活指導を行い、障がい児の生活の安定と保護者の就労等を支援しました。

※新型コロナウイルスの影響で夏期開催が8/11～8/19に短縮となりました。

[利用者数]

年度	元	2
実人数	98名	62名
延人数	586名	171名

3. 要約筆記奉仕員・手話通訳者派遣事業（市受託）

(1) 要約筆記奉仕員派遣事業

聴覚に障がいのある方のために、講演やイベントの会場、病院等へ、「三次市要約筆記サークルうかい」の協力を得て、要約筆記奉仕員を派遣しました。

年度	行政	団体	個人	合計
元	37	6	15	58
2	12	1	30	43

(2) 手話通訳者派遣事業

聴覚に障がいのある方のため、講演やイベントの会場、病院等へ、手話通訳者を派遣しました。

年度	行政	団体	個人	合計
元	9	4	22	35
2	0	0	40	40

(3) 点字・声の広報等発行事業

視覚障がい者、寝たきりの高齢者等に対して、市広報、社協だよりなどの広報紙を、「三次朗読奉仕者友の会」「三次点訳サークルほおずき」の協力を得て、録音テープや点字により情報提供しました。

種別	利用者数	備考
録音テープ	13名	広報みよし、議会だより、社協だより
点訳広報等	4名	図書館だより、ほおずきだより、その他依頼されたものの点訳物

Ⅶ その他の福祉サービス

1. 障がい児者ふれあい事業

新型コロナウイルスの影響で直接会っての交流が制限される中、お互いに励まし合い、気持ちが通じ合えるよう「ふれあい応援メッセージ」を募集し、約430枚のメッセージが集まりました。集まったメッセージを多くの人に見てもらうために、市内の2か所で展示会を開催しました。



2. 車椅子短期貸出事業

病気、けが、術後等により一時的に生活に支障がある方などに対して、車椅子の貸し出しを行いました。

年度	元	2
貸出回数	123件	64件

3. 福祉車両の貸出

外出が困難な障がい等を有する方に対して、三次市社会福祉協議会が保有する福祉用車両を貸し出ししました。

年度	元	2
貸出回数	21回	11回

4. 産前・産後ヘルパー派遣事業（市受託）（ホームヘルプセンターみよし/みよし南）

妊娠期または産後に、日中家事や育児の支援が必要な方へヘルパーの派遣を行いました。

年度	延利用者数	収入額
元	75名	278,410円
2	28名	116,870円

5. 障がい者福祉団体との連携と支援

障がい児者とその家族、ボランティアの交流行事の開催にあたり、三次市身体障害者連合会や障がいのある子供たちと親の会など当事者団体と連携しました。

VIII 共同募金事業・日本赤十字社事業への協力

1. 共同募金事業

共同募金運動に、三次市共同募金委員会事務局として事業実施に携わりました。地域福祉事業の重要な社会資源の一つと位置付けて、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮しつつ広報や街頭募金活動などへ協力して取り組みました。

[募金実績]

年度	令和元年度	令和2年度
目標額	13,340,000	13,340,000
実績額	11,115,761	9,932,126
達成率	83.33%	74.45%

[令和元年度共同募金配分（令和2年度事業充当分）]

配分種別	配分事業	金額	件数	内訳		
県域配分 (A 募金)	地域福祉推 進特別事業 配分	950,000	3	①権利擁護センターもみじ事業		
				500,000		
				②ボランティアはるかぜネット事業		
			400,000			
			③被災者生活サポートボラネット事業			
			50,000			
地域配分 (B 募金)	三次市共同 募金委員会 地域配分	6,967,761	152	分会名	件数	金額
				三次	62	2,872,847
				君田	15	371,180
				布野	9	384,382
				作木	7	400,420
				吉舎	23	1,086,247
				三良坂	12	750,349
				三和	14	672,284
甲奴	10	430,052				
合計		7,917,761	155			

※令和2年度配分事業は、令和元年度の募金が充当されています。

2. 日本赤十字社事業への協力

令和2年度の日本赤十字社会費と寄付金の実績は、4,793,550円となりました。また、災害義援金などの募集、送金も行いました。

地域では、赤十字奉仕団活動の支援、救急救命講習の開催など、赤十字活動の普及に努めました。

	会費 (500 円以上)	寄付金 (500 円未満)	合計	前年度実績
実績額	4,469,500 円	324,050 円	4,793,550 円	4,836,300 円



このマークは、社会福祉および社会福祉協議会の「社」を図案化し、「手をとりあって、明るい社会を建設する姿」を表現しています。

社会福祉法人 三次市社会福祉協議会

〒728-0013 三次市十日市東三丁目 14 番 1 号
代表電話 (0824) 63-8975 FAX (0824) 62-6827
E-mail : mycity@cc.wakwak.com
<http://www.miyoshi-shakyo.com/>